

第6年度（2024年度）事業計画

2024年4月

1. 短期アウトカム、アウトプット、活動について

短期アウトカムを事業、組織、財源の3本柱に分類し、4個設定した。達成時期は中期計画中（1～3年後）とし、それぞれにアウトプット、活動を計画している。2024年度に特に注力するアウトプット、活動について以下に詳述する。

「事業」の柱

【短期アウトカム1】

子ども若者支援、家庭支援、災害支援に特化した助成、組織基盤強化、環境整備を実施することにより、民間公益活動における地域の基盤を強化する

【アウトプット1】

1-1. 休眠預金活用事業による子ども若者支援、家庭支援、災害支援における助成、組織基盤強化、環境整備を実施している

・2021年度通常枠「誰ひとり取り残さない居場所づくり」が最終年度を迎える。事業完了に向けて、伴走支援による成果の最大化を行う。たまきちゃん（子どもの多様な学びの場を保障する基金）による奨学金事業も本格的にスタートした。

・2023年度通常枠「困難を抱える家庭を取り残さない仕組みづくり」は初年度を迎え、6つの実行団体の事業が4月より開始となった。事前評価に注力し、課題の分析からの事業設計を行う。また、コレクティブインパクトチームの活動も始動し、コーディネーター役の団体と密な連携のもと事業を運営する。

・2023年度緊急枠「子育てに困難を抱える家庭へのアクセシビリティ改善」では、単年度の事業の中で、家庭へのアクセスに特化した活動を実施する。4月より公募を開始し、6～7団体を採択予定。

・災害対応については、発災時に適宜、休眠預金の活用を検討する

1-2. 休眠預金活用事業の活動支援団体として、子ども若者支援、家庭支援、災害支援におけるCSOの組織基盤強化、環境整備を実施している

・まずは、公募申請に挑戦する。申請を通して、これまで実施してきた非資金的支援のノウハウを体系化する。採択されたら、将来、実行団体として挑戦できる団体を生み出す取り組みを行う。

1-3. 独自プログラムにより子ども若者支援、家庭支援、災害支援における助成事業を実施している

・今年度、子ども若者応援助成は実施しない。災害支援基金による助成は発災時に実施する。

1-4. 独自プログラムとして、CSOの組織基盤強化事業、環境整備事業を実施している

・伴走支援の体系化を進め、有料メニューとして確立する。

【活動1】

1-1-1. 休眠預金活用事業 2021年度通常枠の実施

1-1-2. 休眠預金活用事業 2023年度通常枠の実施

1-1-3. 休眠預金活用事業 2023年度緊急の実施

1-1-4. 休眠預金活用事業による災害支援の実施

1-2-1. 活動支援団体として案件形成し、申請する

1-2-2. 活動支援団体として事業を実施する

- 1-3-1. 子ども若者基金による助成、組織基盤強化、環境整備の実施
- 1-3-2. 災害支援基金による助成、組織基盤強化、環境整備の実施
- 1-3-3. 多様な学びの場を保障する基金による奨学金事業の実施
- 1-4-1. CCF 組織基盤強化メニューの実施
- 1-4-2. CCF 環境整備メニューの実施

「組織」の柱

【短期アウトカム2】

公益財団法人・グッドガバナンス認証団体として更なるガバナンス・コンプライアンス体制の強化ができ、地域社会から信頼されている

【アウトプット2】

- 2-1. 公益財団法人化が実現している
 - ・今年度中の公益財団法人化を実現し、組織体制の強化、財源の強化に繋げる。
- 2-2. グッドガバナンス認証の更新ができています
 - ・来年度の更新に向けて、ガバナンス・コンプライアンス体制をチェックリストをもとに確認する。

【活動1】

- 2-1-1. 公益財団法人化のための申請作業
- 2-2-1. 規定類の整備状況のチェック
- 2-2-2. 規定類の運用状況のチェック
- 2-2-3. 更新のための申請

【短期アウトカム3】

「プログラムオフィサーやバックオフィスに適材適所の人材確保がなされ、かつ業務効率が改善されることにより、グループ・ダイナミクスが起きている」

【アウトプット3】

- 3-1. P0 人材が確保でき、育成の仕組みができています
 - ・休眠預金活用事業に合わせて、新規の P0 を複数名採用する。今年度中に育成プログラムを作成し、試験的に実施する。
- 3-2. B0 人材が確保できている
 - ・即戦力となる B0 人材を採用する。
- 3-3. P0・B0 人材がチームとして業務を実施している
 - ・P0、B0 人材の連携を図る取り組みを実施する。

【活動3】

- 3-1-1. P0 人材採用のための活動
- 3-1-2. P0 評価プログラムの作成
- 3-1-3. P0 人材育成プログラムの作成
- 3-2-1. B0 人材採用のための活動（即戦力人材の確保）

- 3-2-2. B0 業務ツール（アウトソーシング）の検討・活用
- 3-3-1. P0 チームの組成・運用
- 3-3-2. P0・B0 連携の仕組みづくり

「財源」の柱

【短期アウトカム4】

休眠預金活用事業による財源確保とそれ以外の財源として、寄付収入の増加、遺贈寄付の推進、自主事業による収入、自治体からの委託事業等の獲得により、財源の多様化と安定化を果たす

【アウトプット4】

- 4-1. 休眠預金活用事業（2021 年度通常枠、2023 年度通常枠・緊急枠）による財源の確保と事業ごとの自己資金の調達ができている
 - ・各事業に入れる自己資金を調達する。2021 年度事業が最終年度のため、優先的に自己資金調達の活動を行う。
- 4-2. 休眠預金活用事業の活動支援団体に選定されている
 - ・採択により、次年度を見越した P0 人件費の確保を目指す。
- 4-3. 寄付収入が増加している
 - ・単発寄付、マンスリーサポーターの獲得により、運営への寄付を増加させることで、経営の安定を目指す。
- 4-4. 遺贈寄付の獲得、もしくは遺贈寄付につながる案件がある
 - ・イベント等の実施により、今年度中に遺贈寄付 1 件以上を目指す。
- 4-5. 行政等からの委託事業を獲得している
 - ・今年度中に GCF、企業連携に関する委託を獲得する
- 4-6. 自主事業による収入がある
 - ・伴走支援メニューの有料化により、今年度中に数十万円の収入を獲得する。

【活動4】

- 4-1-1. 通常枠事業ごとの基金の設立
- 4-1-2. 通常枠事業（テーマ）ごとのマンスリーサポーターの獲得
- 4-2-1. 活動支援団体として案件形成・申請し、非資金的支援に関わる財源を獲得する
- 4-3-1. CCF マンスリーサポーター制度の改善に関わる活動
- 4-3-2. 法人寄付獲得のための活動
- 4-4-1. 遺贈寄付推進のための活動
- 4-5-1. ガバメント・クラウドファンディングについての委託事業等
- 4-5-2. 企業連携についての委託事業等
- 4-5-3. みんくるとの協働による資金の獲得
- 4-6-1. 有料の伴走支援メニューの実施
- 4-6-2. 出版物の発行・販売

2. 活動計画表（事業スケジュール）

| 活動 | 2024 年度 | | | | | | | | | | | |
|--|---------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 1-1-1. 休眠預金活用事業 2021 年度通常枠の実施 | | | | | | | | | | | | |
| 1-1-2. 休眠預金活用事業 2023 年度通常枠の実施 | | | | | | | | | | | | |
| 1-1-3. 休眠預金活用事業 2023 年度緊急の実施 | | | | | | | | | | | | |
| 1-1-4. 休眠預金活用事業による災害支援の実施 | | | | | | | | | | | | |
| 1-2-1. 活動支援団体として案件形成し、申請する | | | | | | | | | | | | |
| 1-2-2. 活動支援団体として事業を実施する | | | | | | | | | | | | |
| 1-3-1. 子ども若者基金による助成、組織基盤強化、環境整備の実施 | | | | | | | | | | | | |
| 1-3-2. 災害支援基金による助成、組織基盤強化、環境整備の実施 | | | | | | | | | | | | |
| 1-3-3. 多様な学びの場を保障する基金による奨学金事業の実施 | | | | | | | | | | | | |
| 1-4-1. CCF 組織基盤強化メニューの実施 | | | | | | | | | | | | |
| 1-4-2. CCF 環境整備メニューの実施 | | | | | | | | | | | | |
| 2-1-1. 公益財団法人化のための申請作業 | | | | | | | | | | | | |
| 2-2-1. 規定類の整備状況のチェック | | | | | | | | | | | | |
| 2-2-2. 規定類の運用状況のチェック | | | | | | | | | | | | |
| 2-2-3. 更新のための申請 | | | | | | | | | | | | |
| 3-1-1. PO 人材採用のための活動 | | | | | | | | | | | | |
| 3-1-2. PO 評価プログラムの作成 | | | | | | | | | | | | |
| 3-1-3. PO 人材育成プログラムの作成 | | | | | | | | | | | | |
| 3-2-1. BO 人材採用のための活動（即戦力人材の確保） | | | | | | | | | | | | |
| 3-2-2. BO 業務ツール（アウトソーシング）の検討・活用 | | | | | | | | | | | | |
| 3-3-1. PO チームの組成・運用 | | | | | | | | | | | | |
| 3-3-2. PO・BO 連携の仕組みづくり | | | | | | | | | | | | |
| 4-1-1. 通常枠事業ごとの基金の設立 | | | | | | | | | | | | |
| 4-1-2. 通常枠事業（テーマ）ごとのマンスリーサポーターの獲得 | | | | | | | | | | | | |
| 4-2-1. 活動支援団体として案件形成・申請し、非資金的支援に関わる財源を獲得する | | | | | | | | | | | | |
| 4-3-1. CCF マンスリーサポーター制度の改善に関わる活動 | | | | | | | | | | | | |
| 4-3-2. 法人寄付獲得のための活動 | | | | | | | | | | | | |
| 4-4-1. 遺贈寄付推進のための活動 | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 4-5-1. ガバメント・クラウドファンディングについての委託事業等 | | | | | | | | | | | | |
| 4-5-2. 企業連機についての委託事業等 | | | | | | | | | | | | |
| 4-5-3. みんくるとの協働による資金の獲得 | | | | | | | | | | | | |
| 4-6-1. 有料の伴走支援メニューの実施 | | | | | | | | | | | | |
| 4-6-2. 出版物の発行・販売 | | | | | | | | | | | | |